

美しヶ丘自主防災会(王寺町)

項目	内容
世帯数・人口	
◇世帯数	約1,400世帯(平成26年10月末現在)
◇人口	約3,900人(平成26年10月末現在)
◇内65歳以上人口(高齢化率)	約1,300人(33.33%)
地域の特徴	
◇まちの特徴	昭和50年代に宅地造成された自然豊かで閑静な住宅街
◇過去の災害、想定される災害	過去における災害はない。第2次奈良県地震被害想定では最大震度6強が想定されている。
設立年月日	平成22年10月22日
設立のきっかけ	人口が多く高齢化も進んでいることから、災害発生時には住民相互の協力が大切なことから設立。
目的・キャッチフレーズ	平常時から「顔の見える関係」を築いておくことが、災害時にお互いを助け合える大きな力になる
予算規模	自治会より助成金約20万円の予算。
主な活動内容	
◇防災活動	勉強会、先進地視察の実施。地域住民に対して、「防災ニュース」を発行、地元幼稚園での防災教室、自治会夏祭りでの防災コーナー、年複数回の防災訓練を実施。
◇防災と一体的にとりくんでいる活動(防犯・美化・福祉など)	自治会と共催で、あいさつ運動による犯罪抑止、年末夜警巡視を実施。
◇その他特徴的な活動	防災士資格取得を推進し、資格取得者は訓練の講師等を務める(平成26年10月末現在17名取得)
主な連携先(行政・学校・企業・近隣の団体など)	王寺町役場、王寺南幼稚園、王寺南小学校、西和消防署、近隣自治会

美しヶ丘自主防災会 活動記録

美しヶ丘自主防災会

●はじめに（設立の経緯）

私たちのまちは、王寺町南西部の高台に開発された新興住宅地で約30年を経過しています。1,400世帯、人口約3,900人の一つの自治会であり、自主防災会設立については、自治会の組織をそのまま自主防災会とするのか、新たに別の組織を設立するのか随分検討を重ねました。結果、自治会役員は1~2年で任期を終え、継続が難しいとの判断から、地域でボランティアの方を募り、奈良県防災アドバイザーのご指導のもと、平成22年10月22日に設立しました。

●美しヶ丘自主防災会の目的

近年の大災害を目のあたりにして、災害直後は公的援助である「公助」が期待できないことから、「自分の命、家族、財産は自分で守る」ことをコンセプトに、毎年1回の防災訓練や防災ニュースの発行を通して「自助」の大切さを啓発しています。また、最近では平常時から「顔の見える関係」を築いておくことが重要であると痛感しており、夏まつりや年末夜警など自治会行事にも積極的に参加協力しています。

●美しヶ丘自主防災会の組織

自主防災委員（会長、副会長、事務局、防災士17名を含む）41名が核となり、毎月1回の委員会で年間行事や活動内容を決定しています。昨年、無理のない範囲でお手伝いいただける方を募り、現在約160名の方に「協力員」として登録していただき、訓練の案内やニュースの配布ルートを確立することができました。

●年次別防災活動及び研修

平成22年

- ① 自主防災会設立準備
- ② 家具転倒防止講習会
- ③ 防災リーダー研修参加（防災士資格取得6名）

平成23年

- ① タウンウォッチング
- ② 「ロゴマーク」募集
- ③ 夏まつり防災コーナー（消防団協力）
- ④ 第1回防災訓練（消火訓練）、ロゴマーク決定
- ⑤ 美しヶ丘内各種団体との交流会
- ⑥ 防災リーダー研修参加（防災士資格取得4名）

平成24年

- ① 京都防災センター研修
- ② 南幼稚園防災教室（水消火器体験、紙芝居、せんとくん着ぐるみ）
- ③ 家具転倒防止（集会所本棚）

- ④ 夏まつり防災コーナー（水消火器体験、消防団の消防車乗車体験）
- ⑤ 第2回防災訓練（起震車体験、消火訓練、防災クイズ）
- ⑥ 防災リーダー研修参加（防災士資格取得2名）
- ⑦ 自治会年末夜警参加

平成25年

- ① 防災アンケート、協力員募集（結果を防災ニュースに掲載）
- ② 桜井市朝倉台自主防災会訪問、研修
- ③ 南幼稚園防災教室（水消火器体験、防災DUC、段ボールベッド組立、簡易担架づくり）
- ④ 第3回防災訓練
（AED講習、段ボールベッド組立体験、簡易担架づくり、防災食試食、水消火器、防災クイズ、DVD視聴コーナー）
- ⑤ 防災リーダー研修参加（防災士資格取得6名）
- ⑥ 自治会年末夜警参加

平成26年

- ① 防災会委員と協力員の防災訓練
（炊き出し、ロープワーク、AED講習、消火器の点検の仕方）
- ② 支部別タウンウォッチング（消火栓、防火水槽の位置確認、危険箇所点検）
- ③ 上牧桜ヶ丘自主防災会の訓練及び防災倉庫見学
- ④ 夏まつり協力（会場人員整理、場内巡回、非常食展示啓発）
- ⑤ カマドベンチ講習会（平群町カマドベンチ実行委員会）
- ⑥ 南幼稚園防災教室（水消火器体験、防災DUC、段ボールベッド組立、簡易担架づくり）
- ⑦ 第4回防災訓練
（AED講習、段ボールベッド展示、簡易担架づくり、炊き出し、防災食試食、水消火器、応急処置、DVD視聴コーナー）

● 日常の取組み

- ・「自分の命、家族、財産は自分で守る」をシリーズで防災ニュースに掲載し、「自助」の必要性を啓発しています。
- ・ 防災委員会で、毎月テーマを変えて委員の勉強会をしています。
- ・ 防災倉庫の設置に向けて準備を進めています。
- ・ 自治会との連携を深め、協力体制を図っています。

● 今後の課題

- ・ 要支援者名簿の作成への取組み（平常時から顔を知っておくことが必要）
- ・ 平常時と災害時の組織づくり
- ・ 避難所運営の知識習得や研修

● 終わりに

平常時から「顔の見える関係」を築いておくことが、災害時にお互いに助け合える大きな力になると言われています。そのために、防災訓練や自治会行事の参加など地道な活動を続けていくことが大切だと思っています。今後の課題は大変大きなものですが、一つ一つ着実に進めていきたいと考えています。

王寺南幼稚園防災教室



地震がきたら？



頭を守ろう！



水消火器で消火体験



簡易担架を一緒に作ろう！



段ボールベッドの組み立て体験

H25 防災訓練



AED講習



簡易担架づくり



段ボールベッドの組み立て体験



水消火器で消火体験



防災マル・バツ・クイズ (最後まで残れた人には非常食をお土産)

H26 炊き出し訓練



具を切りトン汁の用意（炊事場は満員）



各支部ごとに炊き出しを実施



竹飯盒やアルミ缶飯盒で炊飯



「顔の見える関係」が築けました



午後からは、ロープワーク等の講習を実施